

## 2 交通

### （1）基本的な考え方

文化交流活動、経済活動の活発化や生活圏の拡大に伴う「人の動き」や「物の流れ」に対応し、より円滑で快適な交通を確保するため、国際物流や国際観光にも対応できる広域的な交通網の構築を図るとともに、地域生活圏間や都心部との連携と地域生活圏における市民生活の質の向上を促進するため、公共交通網や幹線道路網からなる総合的な交通体系の充実を図ります。

特に、本市では自家用車が日常生活に欠かせない交通手段となっていますが、これからの交通を考えるに当たっては、環境負荷の低減や高齢者等の交通弱者に配慮した移動手段の確保が不可欠となっています。そのため、公共交通の利便性の向上や豊かな公共空間を生み出す道路整備、高齢者や障がい者等が安心して通行できる歩道整備、安全で快適な自転車の利用環境の創出など、人と環境にやさしい交通体系の充実を図ります。

また、自動車交通の円滑化を図るため、都市計画道路等の幹線道路については、JR姫路駅周辺の鉄道高架を契機とした交通量の変化や交通渋滞等の状況、都市づくり全体との関連を踏まえながら、重点的かつ効率的な整備を推進します。

### （2）公共交通

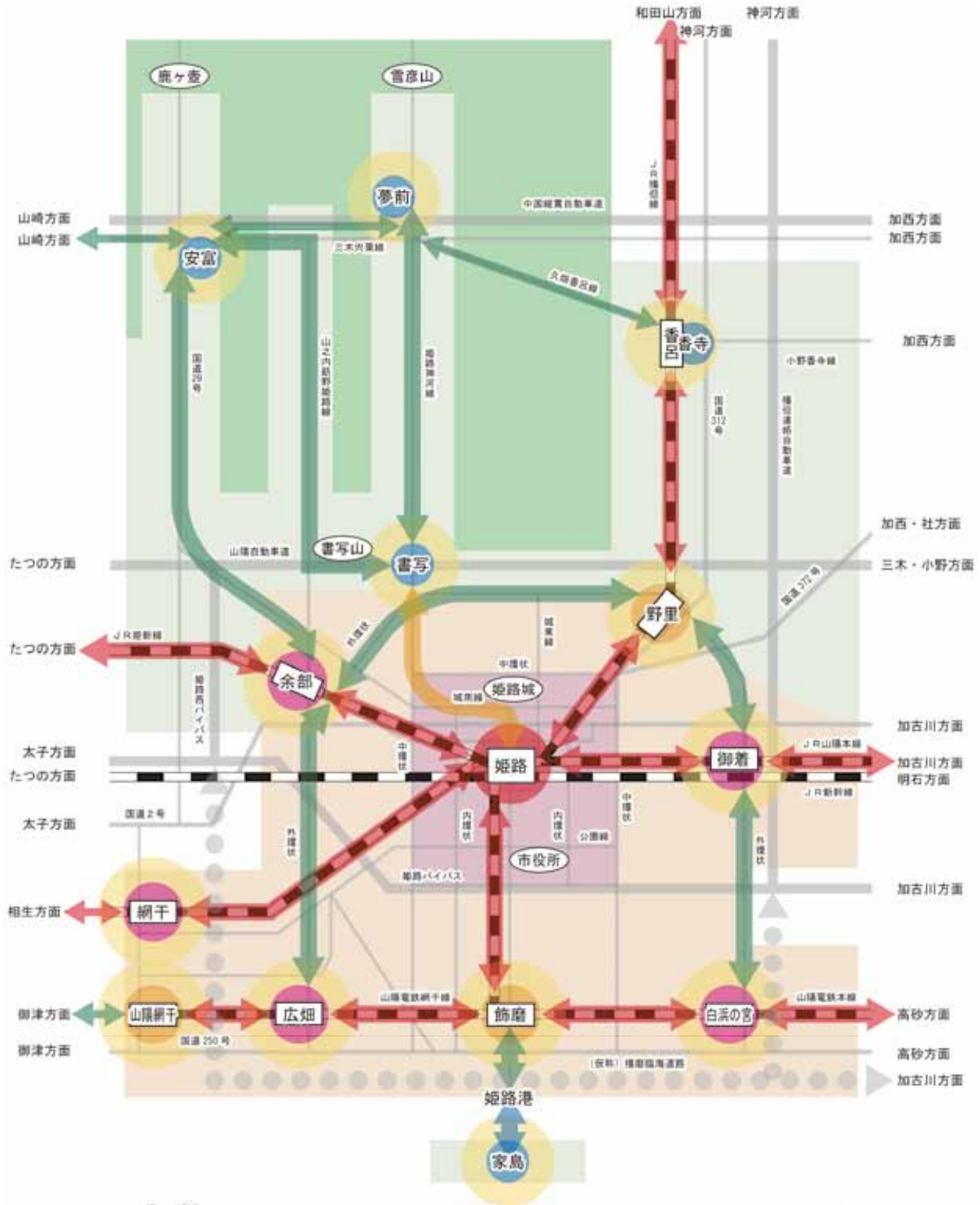
#### ① 公共交通ネットワークの基本構成

地域生活圏における拠点地区と都心部及び地域生活圏間相互を結ぶ公共交通を骨格となる将来の公共交通ネットワークと定義します。

骨格となる将来の公共交通ネットワークは、放射状の鉄道・バス路線、姫路港と家島を結ぶ航路に加えて、環状のバス路線と乗換えしやすい交通結節点で構成します。

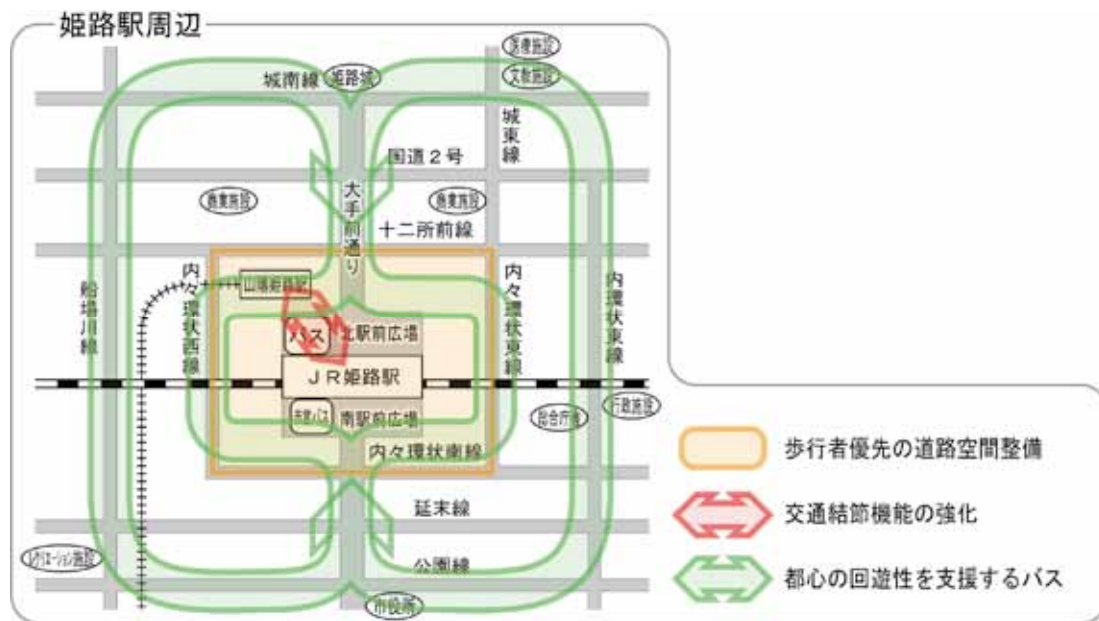
また、姫路駅周辺においては、過度の自動車の流入を抑制し、交通結節機能の強化や歩行者優先の道路空間の整備を進めるとともに、都心部の回遊性を向上させる公共交通の導入を図ります。

■ 骨格となる将来の公共交通ネットワーク



出典：公共交通を中心とした姫路市総合交通計画 基本計画編（平成 25 年 4 月）

■ 骨格となる将来の公共交通ネットワーク( 姫路駅周辺 )



出典：公共交通を中心とした姫路市総合交通計画 基本計画編（平成 25 年 4 月）

② 公共交通の利便性向上

ア 鉄道

- ・ 駅間距離の長い J R 山陽本線の御着駅～姫路駅間及び姫路駅～英賀保駅間における新駅の設置を促進し、鉄道へのアクセス性の向上を図ります。
- ・ 山陽飾磨駅周辺地区において、幹線道路の整備等による交通環境の改善を図るとともに、駅舎の近代化や車両基地の移転等についても検討を進めます。
- ・ 山陽電鉄網干線については、現状のサービス水準の維持を図るため、沿線住民とともに活性化に取り組みます。
- ・ 駅施設のバリアフリー化を促進するなど総合的な利便性の向上を図るとともに、J R 播但線や J R 姫新線では、運行本数の増加や車両の増結等による輸送力の強化を促進します。
- ・ 多核連携型都市構造を推進するため、公共交通ネットワークの核となる市内の既存駅及び新駅周辺の整備を図ります。

イ バス

- ・ バス優先レーンの設置や公共車両優先システムの導入等による書写付近～姫路駅間の定時性、速達性を高めるなど、姫路駅を中心とする放射状路線の機能強化に加えて、山陽白浜の宮駅、J R 御着駅・野里駅・余部駅、山陽広畑駅、(仮称) 書写バスターミナル、文教・医療施設等への移動を円滑に行うため、外環状道路を中心とした環状バス路線の段階的な導入を促進します。
- ・ 安富・夢前・香寺地域の地域間連携を強化し、北部 3 町で J R 播但線が活用できる環境を整えるため、これらの地域間を連絡するバス路線の導入を促進します。

- ・公共交通空白・不便地域においては、地域住民、交通事業者など多様な地域関係者と連携しながら、コミュニティバスの導入など生活交通の維持、確保に向けた取組を推進します。
- ・姫路駅周辺においては、都心の回遊を支援する城周辺観光ループバスの充実や都心循環バスの導入を促進します。

#### ウ 海上交通

- ・姫路港と家島を結ぶ海上交通については、現状のサービス水準を維持しつつ、陸上交通との連携強化を図ります。

#### ③ 交通結節機能の強化

- ・交通結節点となる鉄道駅、地域事務所周辺、旅客船・バスターミナルでは、バスの乗り入れやパークアンドライド、サイクルアンドライドの導入等を進め、公共交通の乗換えや乗継ぎの利便性を高めます。
- ・公共交通機関が集中するJR姫路駅の周辺においては、北駅前広場の整備に続いて南駅前広場の整備を推進し、バリアフリー化、駐車場や駐輪場の適正配置等による交通結節機能の強化を図ります。
- ・都心部に向かう放射状道路の混雑を緩和する効果が期待できるおおむね外環状道路以遠の鉄道駅や（仮称）書写バスターミナル、夢前・安富地域事務所において、パークアンドライドを重点的に推進します。

#### ④ 海上輸送機能の強化

- ・姫路港の最寄りの鉄道駅となる山陽飾磨駅に路線バスを接続し、バスから鉄道への乗換えを促進することによって、港から姫路駅までの移動の速達性向上を図ります。
- ・姫路港広畑地区では、船舶の大型化やコンテナ化に対応できる公共岸壁の整備等を推進します。
- ・各埠頭を結ぶ臨港道路の整備による港湾交通の円滑化を図ります。

### （3）道路

#### ① 道路ネットワークの基本構成

本市のように周辺地域から自動車交通が多く集まり、広い市域で都市化が進行する地域では、都心部等へ向かう放射道路に集中する自動車交通や都心部を通過する自動車交通の分散を図るため、環状と放射状の道路を組み合わせた道路ネットワークの構築が効果的です。そのため、本市の幹線道路ネットワークは、内・中・外環状の3環状道路と10の放射道路からなる幹線道路網を骨格として構成します。

■ 幹線道路ネットワークの基本構成



#### ② 幹線道路網の整備

- ・播磨地域におけるものづくり力の強化や防災・減災機能の強化、広域交流の円滑化を図るため、播磨臨海地域道路網の早期実現を促進します。
- ・播磨臨海地域道路網の整備とあわせて、高規格な幹線道路による格子型道路網の形成を図るため、中国横断自動車道姫路鳥取線や国道29号姫路北バイパスの建設を促進します。
- ・地域生活圏間や都心部との交流、連携を促進する放射道路において、恒常的に発生している交通渋滞の解消を図るため、環状道路や放射道路等の整備を推進します。
- ・地域住民の利便性向上や観光の振興、災害発生時における緊急輸送路の代替ルートの確保等を図るため、中国縦貫自動車道におけるスマートインターチェンジの設置を促進するとともに、そのアクセス道路の整備を推進します。



### ③ 豊かな公共空間を生み出す道路整備

- ・幹線道路は都市においてネットワークを形成する公共空間であり、多目的に活用できるオープンスペースとしての役割にも配慮しながら、植栽による緑化や地域の景観への配慮など、潤いや豊かさが実感できる道路空間の創出を図ります。
- ・JR姫路駅から世界文化遺産姫路城への魅力ある眺望を確保し、城と調和した風格あるまちなみを形成するため、大手前通りの再整備を図ります。

### ④ 高齢者や障がい者等が安心して通行できる歩道整備

- ・都市計画道路の整備にあわせて、有効幅員を確保した歩道等の整備を図るとともに、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりの取組として、高齢者をはじめすべての人が安全で活動しやすい歩道の整備を図ります。
- ・高齢者、障がい者等が日常的によく利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設等への移動経路となる駅前広場や歩道等のバリアフリー化を図ります。

### ⑤ 駐車対策

- ・本市が目指す公共交通中心の交通体系への転換、さらにJR姫路駅周辺地区のまちづくりの進捗等を踏まえ、駐車場整備計画や都市計画駐車場など都心部における駐車対策の見直しに取り組みます。

### ⑥ 都市計画道路網の見直し

- ・本市の都市計画道路の整備率は約65%（平成26年3月31日現在）であり、長期未整備の道路が多く残っています。将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画道路の廃止を含めた都市計画道路網の見直しを行います。



## （4）自転車利用環境

### ① 自転車ネットワークの形成

- ・環境負荷の小さい交通手段等として自転車の利用を促進するため、歩行者と自転車が共存した安全で快適に通行できる空間や駐輪場を確保することにより、自転車利用環境の改善を図ります。
- ・幹線自転車ネットワークを中心に、自転車レーンの整備や既存の自転車歩行者道の再整備など地域の特性に応じた自転車通行空間の整備を図ります。

#### ■ 幹線自転車ネットワーク



出典：姫路市自転車利用環境整備計画（平成17年3月）

### ② 放置自転車対策

- ・収容台数が不足している鉄道駅を中心に駐輪場の整備を図ります。商業施設等に起因する放置自転車の多い都心部においては、駐輪場の付置義務制度を検討するなど、民間事業者と連携しながら駐輪スペースを確保するための取組を進めます。
- ・鉄道駅周辺等における自転車等の放置防止に関する啓発活動や放置自転車等の撤去を実施することにより、自転車利用のマナー向上を図ります。

### ③ コミュニティサイクルの導入

- ・中心市街地の活性化や回遊性の向上を図るため、公共交通で都心に訪れた際の二次的な交通手段として、姫路駅周辺におけるコミュニティサイクルの導入を検討します。